

# 水産庁

プレスリリース

平成20年10月21日  
水産庁

## 2008年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)釧路沖鯨類捕獲調査の終了について

2008年度の第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)の釧路沖鯨類捕獲調査が、10月20日月曜日に終了しましたので、その成果概要について報告します。

### 1. 調査概要

- (1) 調査期間 9月9日火曜日～10月20日月曜日
- (2) 調査実施主体 (独)水産総合研究センター遠洋水産研究所
- (3) 調査海域 北海道釧路港を中心とした半径50マイル以内の海域
- (4) 調査船 標本採集船4隻
- (5) 調査団編成 加藤秀弘総括(東京海洋大学教授)他19名
- (6) 捕獲頭数 ミンククジラ50頭
- (7) 主な発見鯨種 ミンククジラ、ザトウクジラ、マッコウクジラ、ツチクジラ、シャチ等

### 2. 結果概要

(1) 昨年同様、本年の海気象は安定せず、調査船が出港できた日は全期日の57.1%(昨年は67.3%)で、このうち終日洋上で調査活動が可能であった日は全体の33.3%であった。

この間のミンククジラの発見数は108群110頭であり、捕獲頭数は50頭(予定頭数の上限60頭)で終了した。

(2) 捕獲頭数の組成は、雄32頭、平均体長5.97(最小値-最大値(以下同様):4.50-7.72)m、平均体重2.75(1.12-5.40)t、雌18頭、平均体長5.61(3.87-7.94)m、平均体重2.32(0.66-5.88)tであった。

(3) 捕獲された個体の主たる胃内容物については、スケトウダラが31個体、全体の62%を占め、カタクチイワシの15個体(30%)、オキアミの2個体(4%)、スルメイカの1個体(2%)と続いた。その他、空胃が1個体(2%)であった。

(4) 胃内容物重量は平均27.7Kgであった。また、胃内容物重量の最大値は121.9Kgで当該個体の体重(4.38t)の2.8%相当であった。

(5) 今後、本調査及び過去5回の調査を基に、ミンククジラの摂餌生態、回遊実態等について、更に分析を進める予定である。

### — お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課  
担当者: 捕鯨班 高屋、増山  
代表: 03-3502-8111(内線6724)  
ダイヤルイン: 03-3502-2443

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁